



編集室



今年もカレンダーを作る季節になり、ゴミ長屋を整理して版面が出来るスペースを確保した。版木に絵具を付け和紙に刷るという単純作業を今年は約1200回繰り返す事になる。機械ならスリットを入れると同じ調子で休みなく刷り上げてくれるが、人間の場合は休憩が必要だし、同じ動作を同じリズムで繰り返す事が出来ないの
で、刷り上がったものにムラがあり、30年やっても上達が見られないのが残念だが、乳酸が溜まった体を引きずりながら夜なべをしている。
いるんな出来事を抱えながら、今年もあとひと月。老骨に鞭打って頑張ろう……。

小春日に輝く白きシャツ干しぬ
(高)



以前、この季節、夜の帳がおりて賑やかな雰囲気の中、帰路についていた。サンタが壁、トナカイが屋根に、窓からは、放射状の灯りが地面まで等、イルミネーション花盛りであった。最近、ほとんどみなくなった。ブームが下火なのか、町自体の家族構成が変わったのか？かつて、県下一を誇った近くの小学校の生徒数は3分の一に、町も人生のように容姿を変えるのか？皆さんの町はどうですか？
(隆)



先日のニュースで、ハロウィンの経済効果がパレンターインデーを上回ったと報じていた。ちよつと意外だった。スパーなどで、紫色とオレンジ色に彩られて、かぼちゃを飾ったハロウィンコーナーはよく見かけるようになったが、私の周辺では、仮装して「ハッピーハロウィン」と叫ぶ人をまだ見たことがなく、全く実感がわかない。大都会では若者達が群衆でハロウィンをエンジョイしているようだが、私には2月のチョコレート商戦のほうがまだまだ身近に感じられる。
(正)

